

東京圏国家戦略特別区域会議（第3回）終了後記者会見要旨

日 時：平成27年3月4日（水）19：20～19：28

場 所：中央合同庁舎第4号館12階共用1211会議室

（平副大臣冒頭発言）

本日、第3回東京圏国家戦略特区区域会議を開催しました。認定申請を行う区域計画案を議題として議論しました。今回は、1番目として外資系やベンチャーなどの開業手続きを一元化する我が国初の東京開業ワンストップセンター、2番目としては都市計画法の特例事業2件、3番目として丸の内仲通り、行幸通り等におけるエリアマネジメントに係る道路法の特例事業、4番目としては保険外併用療養に関する特例事業の3件、5番目として病床規制に係る医療法の特例事業の2件を記載した区域計画案について御議論をいただきました。特段の異議がなかったことから、区域会議としてこれらの案を決定いたしました。今後速やかに認定申請を行い、東京圏が世界から人材、資本、技術が集まる国際ビジネスやイノベーション拠点として大きな経済的・社会的効果を発揮することを期待したいと思います。以上でございます。何か御質問ありましたらどうぞ。

（質疑応答）

問： 産経新聞の永田と申します。速やかに認定ということなのですが、次回の諮問会議で認定するという事で良かったでしょうか。

答： そうです。次回の特区諮問会議で審議して、認定をするという段取りになっております。

問： 日経の松尾です。今回自治体からの要望は主にどのようなものがありましたでしょうか。

答： まず区域計画に出てきたのは今言った5つのことです。特に非常に注目されたのは、我が国初の東京開業ワンストップセンター。これは、外国の方とか起業する方がワンストップで相談を受ける。役所の窓口が全部そこの一か所に来ているという仕組みになっておりますので、今後起業率をアップするとか外国からの直接投資とか、外国から日本で企業を起こすというときには大変貢献するだろうと思っております。その他、都市計画とかエリアマネジメントとか保険外併用、病床規制といったものは、今まであったものの追加ということになっております。

問： 更なる追加の規制緩和とか、特区の範囲を広げるとかその辺りの議論はいかがでしょうか。

答： また、その他の議論のところ、東京都、神奈川県、成田市からこういったことをやってほしいという議論はいろいろたくさん出ました。神奈川はヘルスケアに力を入れていて、関節をサポートするロボットの HAL が、今の使用方法では、医療機器に指定されてしまうと逆にスポーツセンターでの取り組みに支障が出るなど、そのようなことについても指摘がありましたし、有識者の皆様からは専ら厚労分野、いわゆる薬事承認の迅速化とか、最先端の医療の迅速評価制度などをやってもらいたいというような話が出ておりました。成田市の方からは医学部新設ということに関して、今、分科会でのヒアリングをやっていますので、引き続きスピードアップをしてやっていただきたいという要望がございました。

問： 竹芝と虎ノ門四丁目地区なんですけど、区域計画認定は年度内というか、今月中と考えるとよろしいでしょうか。

答： 次回の国家戦略特区諮問会議の時に認定です。

問： 次回というのが今月中。

答： 今月中を目途に開こうということで調整中です。

問： そこで決定と。

答： そうです。

問： 朝日新聞の田中ですけれども、東京都のエリア・区の範囲が書かれていましたけれど、全域に広げるような議論でしょうか。

答： 東京都の方からはですね、広げたいというお話をいただいております。我々、国の方としては、最初から東京全部でいかがですかという思いもあったので、それは歓迎をしたいと思います。今後、議論を重ねていくということです。我々としてはウェルカムです。

問： 一点確認ですけれど、「我が国初の」というところなんですけど、これまで福岡や大阪

でやっていたものとは異なるのでしょうか。

答： 福岡は雇用労働センターとあって、雇用と労働に関わるいわゆるわかりにくいところを専門的に相談に応じるというやり方です。今回は、開業・起業のワンストップセンターということになっていますので、ちょっと役割が違うということになります。

問： 共同通信の小林ですけれども、ワンストップセンターなんですが、東京圏に起業する人が利用できるのでしょうか。

答： 特区は東京圏ですので、利用できるということになります。東京圏さらには東京都を重点的にということになりますが、それ以外を排除するというではありません。

問： 都から農地に関する提案があったと思うんですが、どういう話し合いがなされたのでしょうか。

答： いわゆる都市農業といいいますか、「都市農業特区」の推進及び多摩地域や農地のある区部における指定区域の拡大ということで提案がございました。今日は本当に短時間の提案でございまして、要はこのままいくとどんどん都市部の農地がなくなってしまう、そういった観点からですね、多様な担い手の確保とかですね、小規模農地の保全だとか、相続税の負担軽減などの要望があったところであります。これは資料が後で配られると思いますので、御覧いただきたいと思います。舛添知事から本当に短時間プレゼンをされたということで、今回は議論の時間はありませんでした。

問： M3の橋本と申しますが、先ほど成田市の医学部新設の話がありましたけれども、いつ頃に結論を出すのでしょうか。今日も大臣は早急に結論を出すとはおっしゃっていましたが。

答： 今ですね、分科会で議論を進めておりますので、いつというのは私の口からは言えませんが、分科会を2回進めています。それで、市長の方からもですね、また次回早め開催してほしいという話もありました。できるだけ早くと思っています。